

逆風の渦中に躍り出た、百戦錬磨の勇将 第15代当主

菊池武光 生誕700周年

平安から室町時代の後半まで、約450年

にわたり九州で活躍した菊池一族。源氏物語や蒙古襲来絵詞、太平記など、名だたる書物に足跡を刻み、最盛期には中央にまで名をとどろかせた一大豪族でした。

その歴史的・文化的資源は誇るべき菊池の宝です。しかし、全国的な知名度は低く、地元でも価値が広まっていないのが現状です。

今年は、一族の長い歴史の中で最も華やかな輝きを放った英雄・菊池武光^{きくち たけみつ}の生誕700周年という節目の年。

イベントや講座、記念講演会など学びの機会を増やし、一族の魅力を全国、そして世界へ発信し、多くの菊池ファンを獲得したいと考えています。

【問い合わせ先】

生涯学習課 ☎0968(25)7232

菊池武光の魅力を知る
新連載スタート

武光は菊池一族の第15代当主として南朝方の九州制覇を成し遂げ、菊池の最盛期を築き上げた、まさに菊池が生んだ一大英雄です。百戦錬磨の勇将として恐れられ、後の世には戦の神様として祭られたほどですが、その生涯は波乱に満ちたものでした。

「市民広場の騎馬像」として親しまれている武光。生誕700周年を記念して連載をスタートし、その波乱万丈な生涯をお伝えしていきます。

第1回は特別版として、武光の大まかな人物像について紹介。次号からは本紙連載コーナーにページを移し、全7回にわたり掲載します。

新連載

桜色の合戦図

― 菊池武光の軌跡 ― ①

菊池武光という男

庶子からの台頭

一族の中で最も有名な武光ですが、実は母親の身分の低さから、当初は当主の候補に入っていませんでした。

大きな転機が訪れたのは20代半ばの頃。当時、現在の熊本市南区城南町あたりで小領主の職に就いていた武光のもとに、菊池本城が敵方に陥落した一報が届きます。これを好機と捉え、自身の軍勢を率いて菊池に攻め込み、6日間で本城を取り返しました。

この功績で一気に名を挙げ、実力で当主の座を獲得します。

絵で見る 幻の都 城下町菊池

失われた都が絵で蘇る一。冊子完成&連載スタート!

武光が生きた時代の菊池を描いた絵画集「幻の都 城下町菊池」が完成しました。元地域おこし協力隊の橋本真也さんが、菊池一族プロジェクトの一環で制作した48枚の絵画を、橋本さんの解説付きで紹介しています。冊子は市内各所で無料で配布する予定。本紙でも今月号からシリーズで紹介していきます(23ページ参照)。



菊池武光公 生誕700周年ロゴデザイン決定!

昨年12月に「菊池武光公生誕700周年記念ロゴデザイン」を募集したところ、全国から234点の応募がありました。審査の結果、下記のとおりロゴデザインを決定しました。

最優秀賞に選ばれた作品は、菊池武光公700周年をPRするイベントや印刷物、グッズなどに活用していきます。たくさんのご応募、ありがとうございました。



このロゴをさまざまな場面で活用していきます!

最優秀賞

たかしまこうじさん
(大阪府)

誠実さと一途に志を貫き通す信念を、荒々しさと繊細さを兼ね備えた筆書き文字で表現してみました。色調の変化は情熱の色を示しています。



優秀賞 あまのほづみ
天野穂積さん(静岡県)

鎧姿の菊池武光公と巻物をモチーフとしました。また鎧姿と表情は武勇、誠実、勤勉を、色彩の赤は情熱を表し、巻物は源氏物語などの書物を意味し、菊池一族の歴史を強調しています。



優秀賞 こじまみつる
児島 満さん(宮崎県)

700とかぶとをイメージしています。重なった部分が過去から現在までの時の積み重ねを表現。かぶとが表す伝統と数字の鮮やかな色の組み合わせで生誕700周年をアピールします。

1359(延文4)年、現在の福岡県小都市を舞台に、日本三大合戦の一つと呼ばれる大戦が勃発しました。筑後川の戦い(大保原合戦)と呼ばれるこの合戦は北朝方6万、南朝方4万という大きな規模で、武光の九州制覇に王手をかける戦いとなりました。

懐良親王と武光はともに傷を負いながらも死闘を征し、ついに南朝方は九州の中心である大宰府を制圧。活動の拠点を移し、以後十余年にわたって大宰府は南朝方の勢力に守られます。この時期が、菊池一族の黄金時代となりました。

九州制覇

百戦錬磨の勇将

当主になった武光は、征西將軍として九州に遣わされた後醍醐天皇の皇子・懐良親王を菊池に迎え、親王を支える侍大将として政治と軍事の両面から存分に実力を発揮しました。広く戦上手として知られ、敵方からは百戦錬磨の勇将として恐れられたと伝わっています。

当時、全国的に南朝方は北朝方に対して劣勢な戦いを強いられていました。しかし、武光が牽引する九州だけは、南朝が有利に情勢を展開していったのです。

再び忘れ去られた菊池一族。連戦を通して、郷土の英雄の活躍と魅力をお伝えしていきます。

戦の神様

その後は全国的な流れにあらがえず南朝は北朝に降り、やがて菊池一族も衰退していきます。

忘れ去られた時代を経て、武光の偉業が再び大きく注目されたのは明治以降のこと。天皇方の雄として名を馳せた武光は戦の神様と崇められ、旧日本陸軍によって意欲的に戦術を研究されたほか、忠君の象徴として大いに利用されました。

その結果、菊池一族は皇国主義の象徴というイメージから戦後の日本ではタブー視され、研究や教育の場から遠ざけられました。



第15代当主 菊池武光

スマホを持って出かけよう!

感じる、菊池一族の軌跡 ～ 菊池一族ウォークラリー ～

菊池一族ゆかりの地をめぐる、景品をゲットしよう!

前回から7カ所増えて32カ所になりました。クリアファイル、マグカップなど、好評だった景品に加え、全部制覇するとオリジナルマグボトルをプレゼント! 5箇所から景品をもらえるので、はじめての人も気軽に挑戦できます。

ゆかりの地やルールなど、詳しくは菊池一族のホームページをご覧ください。 ※QRコードはウォークラリーのホームページです。→

菊池一族ホームページ

<https://www.city.kikuchi.lg.jp/ichizoku/>



景品のマグボトル、クリアファイル、ポストカード